



発行●粕江市
〒201-8585 粕江市和泉本町1-1-5
☎3430-1111 FAX3430-6870
Email=wacco@city.komae.lg.jp
編集・制作●特定非営利活動法人 **k-press**
〒201-0003 粕江市和泉本町1-35-3
ル・ミリオン・イイダ3階A号
☎3430-6617 FAX3430-6743
Email=wacco@k-press.net

誌面に掲載した記事・写真等の無断複製・転載等はお断りします。
お問い合わせ・ご意見は協働コミュニティ課へ

子どもたちに生の音楽を



学校コンサート

「音楽の街-粕江」の事業として市内の小・中学校10校で各校からのリクエストに応じて演奏内容を決め2年に1回開催している。

緑野小学校＝6月19日(金)に1～3年生と4～6年生に分かれ体育館で実施した。トランペット奏者岩月美樹さんと山川洋樹さん、ホルン奏者山本茜さん、トロンボーン奏者佐々木一成さん、チューバ奏者小峯奈々さんによる金管楽器五重奏が楽器紹介メドレーやディズニーの『アラジン』、ジブリの『となりのトトロ』など映画音楽を演奏した。児童たちはおなじみの曲に合わせて手拍子を叩いたり、歌詞を口ずさむなどして楽しんでいた。

粕江第一小学校＝7月10日(金)1～3年生と4～6年生に分かれ体育館で琉球提琴曲の演奏活動を行っているヴァイオリン・ヴァイパーヴァイオリン奏者大城敦博さんと、ゲストのヨーロッパの古楽器ヴァイオラ・ダ・ガンバ奏者中野潔子さんが出演。大城さんは6弦のヴァイオリンで日本の唱歌をクラシック、カントリー、アイリッシュ、ブルーグラス、琉球提琴曲、それぞれの奏法で演奏した。大城さんは日



本で一人しか弾けない珍しいヴァイパーヴァイオリンを紹介。ヴァイオラ・ダ・ガンバとの合奏で「闘山羊」などを演奏、鳥の鳴き声のクイズも織り込むなどして児童たちを楽しませた。

子育てコンサート

市内の幼稚園や市立保育園と認証認可の保育園、こども園など年間8～9園で希望に応じてコンサートを開催している。

駄倉保育園＝7月9日(金)にホールで乳児向けに約15分、幼児向けに約25分、マリンバ奏者鈴木孝順さ



おんまち20 音楽の街-粕江 #5b

んと田中雅子さんが乳幼児になじみが深い「ハッピージャムジャム」「アンパンマンたいそう」に加え、モーツァルトのピアノソナタ、『サウンド・オブ・ミュージック』の「ドレミのうた」などを演奏した。園児たちはマリンバの音色に加え、マリンバに触れたり、分解を見たりして楽しんでいた。

駒井町みんなの家＝7月13日(金)に0歳から5歳まで約70人が弦楽器の響きを楽しんだ。「琉球提琴曲Project」のヴァイオリン奏者大城敦博さんとヴィオラ・ダ・ガンバ奏者中野潔子さんが沖縄の民謡などを約30分にわたって演奏、ヴァイオリン奏者宮本恵さんも1曲参加した。園児たちは沖縄舞踊のエイサーの手振りを習ったり、『となりのトトロ』の「さんぽ」を歌って楽しんでいた。



駒井保育園＝7月15日(金)に0歳から5歳まで80数人がヴァイオリンとピアノの演奏を楽しんだ。ヴァイオリン奏者鈴木直子さんとピアノ奏者渡辺文子さんが『アナと雪の女王』のテーマをはじめとしたディズニーのメドレーなど子どもたちに人



気の曲を演奏、園児たちはアンパンマンのテーマや『となりのトトロ』の「さんぽ」を歌って楽しんでいた。

市民の手で運営し21年 月2回の演奏会は満員

かわせみコンサート は、谷戸橋地区センターの開設にかかわった住民たちが「音楽の街-粕江」にふさわしい生の音楽に触れるコンサートを開こうと平成17年から続けている。当初は運営協議会が年4回催していたが出演希望が増えたため、実行委員会(神原章造代表)を結成して運営を引き継ぎ、現在はほぼ月2回、年間20回以上開催。約80の客席が満席になるという。ジャンルは多彩でアマチュアに加え、プロミュージシャンも招き、コンサートの模様はYoutubeでも配信している。入場無料で経費は入場者の寄付でまかなっている。

神原さんら15人の実行委員は「献身的に活動するスタッフや多くの人に恵まれて20年以上続けられた。今後は後継者を育てながら続けたい」と話している。

8月9日(金)の21周年記念コンサートには粕江生まれのピアノ奏者田中梢さんと田中舞さん親子らが出演、23日(金)はThe Silver Eaglesとミルフルールが演奏する。時間



はいずれも午後2時から3時30分(入場午後1時30分)。問い合わせ☎080-1282-8166神原さん。

平和を願い響く歌声 9月6日にエコルマで

こまえ平和フェスタ2026 が9月6日(金)午後1時30分～4時にエコルマホールで催される。

こまえ平和フェスタ実行委員会主催、粕江市・粕江市教育委員会など後援で開催するもの。21回の今年、オープニングで音楽の街-粕江エコルマ企画委員会委員を務めるシンガーソングライターの大熊啓さんが作詞・作曲した「見上げた空から」に加え「ドレミのうた」を、フィナーレで市の歌「水と緑のまち」を平和フェスタ合唱団が歌う。同合唱団は例年、市内で活動する粕江ぞうれっしや合唱団の団員と、参加希望者で構成している。練習は7月から始まり、8月1日(土)、22日(土)、29日(土)の午前10時～正午にこまえみらいテラスで行う予定で、参加



音楽の街-粕江 エコルマ企画委員会委員紹介

おんまち入タツフ



大熊 啓さん おおくま あきら

＊いち推しの作曲家と曲▷フォークシンガー高田渡さんの「値上げ」のほ

か、「死んだ男の残したものは」「俺は枕木」＊音楽の効用▷歌うことは全身運動で誤嚥防止等介護予防に効果あり。30分のスピーチより5分の歌＊音楽を始めた時期と楽器▷小学生の時、粕江市少年少女合唱団に入団。高校卒業後、声優養成所の講師に地域の合唱団に入るよう勧められ調布粕江合唱団に入団し再び音楽に出合った＊粕江でやりたい音楽活動▷エストニアの全国歌謡祭のように、粕江の数

希望者の受け付けも行う。

「見上げた空から」は、平成29年に沖縄県普天間基地に隣接する保育園で起きた米軍機部品落下事故に着想を得て令和元年に大熊さんが創作した曲で、平和フェスタでは初めて披露される。このほか、高校生による座談会「いま平和について思うこと」、中学生による朗読劇「日本国憲法と私たち」などがある。入場無料だが、会場で募金を行う。

また、8月17日(金)～31日(金)・9月16日(金)～30日(金)に粕江市市民活動支援センター展示コーナーで平和を願う絵手紙、川柳、俳句などの作品と原爆・空襲写真、粕江市と調布市の平和事業を紹介するパネルを展示、フェスタでも展示する。

問い合わせ☎・FAX3480-7477 Mmail@komae-heiwa-fes.clean.toこまえ平和フェスタ実行委員会。

万人の市民が一斉に市の歌を歌うような場面をつくりたい＊粕江の街の魅力▷市の歌「水と緑のまち」の風景が現在も見られることが魅力。村時代から伝わるお囃子が継承されていることもすばらしい。

●プロフィール●楽器・音楽ジャンル：フォークソング、歌声喫茶、合唱など。楽器はギター、時々アコーディオン。粕江市出身。粕江第三小学校、粕江第二中学校、今はなき都立南野高等学校を経て日本ナレーション演技研究所本科修了。粕江ぞうれっしや合唱団、オール粕江おやじの会連合合唱団、こまえ平和フェスタ合唱団の指揮・指導。みんなの広場で歌声喫茶、粕江駅南口の居酒屋で歌声酒場開催。